放送大学鳥取同窓会会報

麒麟きりん

第７号

発　行：放送大学鳥取同窓会
麒麟編集委員会
発行日：２０１９年３月１６日
〒680-0845
鳥取市富安２－１３８－4
放送大学鳥取学習センター内

【表紙】瑠璃光寺(山口市)：文・絵　澤田廉路

平成３０年度の放送大学中四国ブロック同窓会会議が９月に山口であり、鳥取からは５人参加し、鳥取学習センターのサークル活動などを発表してきました。

翌日の視察で、山口の大内文化全盛時代の国宝、瑠璃光寺にいってきました。

高さ３１．２ｍある五重塔は奈良の法隆寺、京都の醍醐寺とともに、日本三大名塔と言われており室町時代１４４２年に建立されたもので、周囲の公園とともにバランスがよく大変美しいものでした。

なお、この瑠璃光寺は長州藩主の墓所になっている香山墓所の一隅にあります。

平成３０年度放送大学の卒業をお祝いする会の開催

副会長　澤田 廉路

平成３０年１０月７日（日）に学位記伝達式ならびに卒業をお祝いする会が開催されました。今回鳥取学習センターからは教養学部１０名(心理と教育コース６名、生活と福祉コース２名、社会と産業コース２名)が卒業されました。ご卒業された皆さんおめでとうございます。学位記伝達式には残念ながら、心理と教育コースの田村純一さんしかご出席がなかったのですが小林鳥取学習センター長より、講義室で学位記ならびに花束が贈呈されました。そのあと市役所南庁舎地階第５会議室でお祝いをする会のお食事会が同窓会主催で、鳥取学習センター長小林先生、前センター長の若先生、元センター長西田先生、学友会の坂本会長、他同窓会有志の方にも参加していただき開催されました。

田村さんは２０１２年１０月に入学されて以来２回目のご卒業だそうですが放送大学の興味ある科目を勉強しているといろんな悩みも消えて気が楽になり、精神的に落ち着くことが出来たとおっしゃっていました。根っから勉強がお好きなんだと思いました。私はレポートの提出や試験の前になると自分が選んだ科目でありながらも、勉強に苦戦しながら締め切りのプレッシャーにも追い詰められ大変な思いの日々を過ごしていたことを思い出し、人それぞれ違うのだなぁと感じたところです。

さて、次の平成３０年度の学位記伝達式・卒業をお祝いする会は４月７日(日)を予定しております。是非同窓会の皆様もお祝いをする会にご参加していただき、ご卒業をお祝いしてあげてください。よろしくお願いいたします。

卒業生　田村純一さん

卒業生をお祝いする会

卒業研究のすすめ

会長　西本 弘之

なぜ卒業研究をするか。同窓会の皆さんは、一度卒業されているので、再入学でもしなければ卒業研究をするなどとは考えないかも知れません。しかし、是非、卒業研究をしていただきたいと思っています。放送大学は単位認定試験のみでも卒業できますが、自分の興味のあることは自分で埋める必要があります。そこで、調査研究が始まります。

日本の伝統文化について、修行方法の学習方法に「口伝（くでん)」という学習方法があります。『基礎的なところは、師匠の言うとおりに真似る。』しかし、次の段階ではオリジナルな部分が出なければならないのです。この点が研究開発と似ています。

このことは、先生の言うことそのまま真似、回を重ねてくると自分でできるようになることですが、自分で考えることの大切さに当たります。

卒業研究のまとめ方に不安や疑問を持っている方に一言。
どのようにまとめるのか疑問に思っていると思いますが、少し注意事項に気をつけ、手順を踏んで行けばまとまります。私は、疑問に思っていることがあれば、先ず手当たり次第に資料を集めます。期間は、一週間のこともあれば一ヶ月、さらに数年のこともあります。コピーをしてファイリングします。ファイリングに付箋を付けて、マーカーを付けています。ここで、資料は必ず出所、出典がわかるように残します。

考え方も、同調、反論などいろいろ集めていると突破口があるものです。毎日意識から外さなければ、ささいなことからもヒントが見つかります。私は、この意識の中に残すことを『タンスにしまう』といっています。研究開発でうまくいかないことでも意識の中に残しておくと気が付くことがあります。

鳥取県民として、鳥取県立図書館は充実しています。

インターネットの発達した時代ですが、鳥取県立図書館は、国内でも非常に優秀で充実しています。また、検索しても県立図書館にない書籍文献は、他の図書館から取り寄せ、場合によっては書籍の購入の注文も受け付けてもらえます。また、図書館の機能として情報の収集も手伝ってもらえます。アドバイスももらえます。県立図書館は、ビジネス、経営関係にも重点を置いています。もう一つの方法は、放送大学の図書館経由で、各種のデーターベースに無料でアクセスできます。この方法も、重宝しています。

今までに放送大学に卒業研究は、学部、大学院と３編まとめました。もともと工学系の人間が人文科学系の内容に視点を変えてまとめたものです。
〇茶花における美しさの規則性解析に関する研究（２０１４）
〇茶花の古書におけるテキストマイニングによる知識獲得に関する研究（２０１６）

○画像計測による特徴点抽出に関する研究　－利休茶道具の美しさの規則性について（２０１８）

放送大学の学生は忙しい。しかし、仕事をしながらまとめるのは大変かも知れませんが、非常に充実感があります。まとめておくことは、後で非常に価値を生みます。私の友人も研究論文をまとめていたために、退職後の再就職に有効であった事例を知っています。

最後に、私は工学系の研究機関に勤務していたのですが、何年かたってからまとめておいて良かった言うことがいくつもあります。放送大学の卒業研究のアドバイスをしますので是非検討してみてください。

2019年「鳥取同窓会定期総会」&「親睦会」開催！！

日　　時：２０１９年５月１２日(日)１０：００～
定期総会会場：放送大学鳥取学習センター多目的室
親睦会会場　：美歎牧場バーベキューハウス　℡：0857-52-1129
（鳥取市国府町美歎字長谷７１９）
移動手段　　：無料送迎バス
申込み方法　：総会案内往復はがきに必要事項を記入し返信、もしくは事務室に備え付け申込用紙に記載。
注　　意　：**完全予約制のため、当日のお申込み、キャンセルはできません。**ご了承ください。

同窓会初めての企画として、総会の後、美歎牧場でＢＢＱパーティーを予定しています。バスで迎えに来てもらえるように計画していますので、知り合いにお声がけして、是非多数のみなさんに総会・懇親会へご参加をしていただきますようお願いいたします。

なお、総会案内往復はがきの発送、申込用紙などを事務室に準備しますので、申し込みをよろしくお願いいたします。

島根同窓会主催　第４回中部地区会員・学生交流会
“海のたたら・山のたたらを訪ねて”に参加して

副会長　清水道代

と　き：平成３０年１１月９日（金）　　主　催：放送大学島根同窓会

【経緯】

麒麟第６号でご報告した「第６回中国四国地区放送大学同窓会交流会(山口)」に参加した後、島根学習センター同窓会副会長竹下隆氏からのお誘いで、同同窓会主催のイベントに参加させたて頂きました。平日開催のため、鳥取からの参加者は２名でしたが、島根同窓会の皆様から暖かく迎えられ、充実した一日になりました。当日の様子を(簡単に)ご報告いたします。

【田儀櫻井家たたら製鉄遺跡探訪と横見埋没林公園】

中国地方は、平安時代頃からたたら製鉄が発達し、長い歴史を有している。中でも島根県奥出雲地方はその歴史を引き継ぎ、現在もたたら文化が残る場所である。放送大学島根学習センター面接授業「たたらの科学と文化(２０１６年６月開講)」では、島根県奥出雲地方のたたら製鉄を科学的・文化的アプローチにより学習したが、今回は「海のたたら」を担ってきた「田儀櫻井家」とたたら製鉄遺跡の探訪、また三瓶山火山活動によって７万年前に埋没した樹木「埋没林」を見学させていただいた。見学にあたって、まず、田儀櫻井家たたら製鉄遺跡保存会会長高橋氏からたたらについてのガイダンス、また５名のボランティアガイドさんに現地解説をしていただいた。

国史跡(平成１８年１月２６日指定)の宮本鍛冶山内遺跡は、田儀櫻井家本宅遺構、智光院・田儀櫻井家墓地、金屋子神社、大鍛冶場跡など谷あいに所在し、たたら製鉄の繁栄を現代に伝えていた。ここでは「割鉄」を製造し、田儀港から北前船により全国に出荷していた。なかでも、北国（新潟・富山・石川）へ出荷した鉄は、鍋・釜・包丁などの生活品に加工されたという。特に、塩の産地であったこれら地域では塩製造に鉄製品が必要で、田儀港から出荷される「割鉄」を利用していた。これが「海のたたら」で、奥出雲の「山のたたら(玉鋼など)」との違いである。なお、奥出雲の櫻井家と田儀櫻井家は姻戚関係にあり、その歴史も興味深い。

「道の駅キララ多伎」へ移動し、昼食と特産品のお買い物を楽しんだ後、「朝日たたら」へ。ここは、たたら炉の地下構造を見ることができる遺跡で、宮本鍛冶山内遺跡と共に国史跡に指定されている。その後「横見埋没林公園」に移動し、見学。展示施設内で参加者の自己紹介など交流会が開催され、同窓会会員同士のつながり、事務室との良好な関係を知ることができた。

島根には、このほかにも多くのたたら製鉄遺構が保存・発掘され、たたら製鉄の歴史と文化、地質と鉄の科学など興味が尽きない場所だと思った。決して良い天気ではなかったものの、帰りがけに見た夕方の雲は焼けた鉄のようで、それはそれで美しいと思った。

今回、島根同窓会副会長竹下隆様のお誘いで同同窓会交流会に参加し、参加者皆さんの学ぶ意欲と明るい笑顔に接し、放送大学で学ぶことの楽しさを再認識した一日だった。このイベントにお誘いくださり、あたたかく迎えてくださった島根同窓会の皆様に感謝とお礼を申し上げ、当会でもこのような交流の機会を作ることができればと思った。

当日の詳細は、島根同窓会会報誌「たたら第１２号」に掲載され、「島根同窓会」の公式ＨＰから閲覧できます。

平成３０年度「放大まつり（第５回）」が開催されました！

と　き　平成３０年１１月２３日（勤労感謝の日）　９：００～１６：３０
ところ　鳥取市駅南庁舎　鳥取学習センター（主会場）

ことしは「駅南庁舎ハンパないって！」と題し、【鳥取駅南庁舎で「知力」「学力」「体力」を身につけよう！】をテーマに開催しました。

学び舎である鳥取市役所駅南庁舎５階放送大学鳥取学習センターをメイン会場に、２階「鳥取市立図書館」、６階「フィットネスクラブＰＡＪＡ」を巻き込んで、発表会、座ってできるヨガ体験、がん予防の公開講演会、作品展示、ポスター発表、昼食会、バザー、水彩画体験など盛りだくさん。

鳥取同窓会も、実行委員会で企画・運営に全面協力しました。当日の様子を写真でご紹介いたします。　（報告：司会担当清水道代）

小林所長挨拶

第５回　　放大まつり

大黒進氏による詩吟

琴を演奏する林子さん

琴の演奏で合唱♪

客員教員室がバザー会場に

掘出物がたくさん！！！

ヨガ体験中

昼食風景　　講義室では、パン・ジュースの販売も

抹茶の振舞い

放送大学新時代　小林所長

公開講演会「がん(癌)は予防できる！？」講師：廣岡保明氏

（鳥取大学医学部長）

澤田副会長による水彩画体験

【閉会挨拶】

放大まつり実行委員長　清水謙一

放大まつりの全日程を、無事に終えることができました。みなさん、楽しんでいただけたでしょうか？

このイベントの企画・運営には、現役の学生・同窓生が実行委員として参加し、事務室と一緒に会議を重ねて意見を交換し、放大まつりを開催することでここでの学びが楽しくなり、そして、どうしたら放送大学生でない人たちに放送大学の存在と魅力を知ってもらえるだろうかと、知恵を絞りました。

ただ、どれだけいい企画をして広報をしても、この場所に人が集まってくれないことには、なにも始まりません。そして、まつりも盛り上がりません。

そういう意味で、今日、皆さんと一緒に放大まつりで一日を過ごせたことは、大変うれしいことです。

「知力」「体力」そして「学力」を身につけることは、人がより高次元に達するための「ちから」になると思います。「勉強」は独りで出来ても、生きる「ちから」はひとりでは獲得できないものです。放送大学で皆さんとそれを実現できたら、なによりです。

参加してくれた皆さん、そして放大まつりを盛り上げようと集まってくれた実行委員皆さんの前途を祝し、閉会のあいさつと致します。

今日は、ありがとうございました。

平成３０年度鳥取県文化功労賞　受賞記念巡回展に参加して

副会長　清水道代

２０１９年１月２６日朝、時折小雪が舞うなか鳥取県立博物館の開館を待っていた。この日、石谷孝二先生（放送大学鳥取学習センター客員教授）の“平成３０年度鳥取県文化功労賞受賞記念巡回展ギャラリートーク”が開館時に開催されるとのこと。

石谷先生には、放大まつりへの作品展示のご協力、セミナー「鳥の形」「野外彫刻の遊具」で作品つくりをご指導いただいたご縁があり、今回の受賞はたいへんうれしく、ギャラリートークを聞き逃してはならないと、早起きをして駆けつけた。

鳥取県立博物館の展示室には、たくさんの作品が展示され、石谷先生ご夫妻のお姿が。また、寒さ厳しい朝にも関わらず多くの参加者がおられ、石谷先生のギャラリートークが始まった。

先生の作品は、粘土や木材の素材で出来ていて、その存在にとても温かみを感じる。そして、いちばんの魅力は「カーブ」。わたしは美術的な才能も感覚も持ち合わせていないが、作品を形作る曲線・曲面、表面の細やかな滑らかさと優しさ、大胆さや力強さに感動した。

１０年スパンで作品のテーマを追求され、シリーズ化されているというお話や、身近なものからインスピレーションを得ること、「見たて」という物事に対する視点や置き換えなど、どんな些細な出来事からもインスパイアされている先生の制作姿勢は、とても刺激的だった。芸術を追求し、独自の世界観を表現していくことは、生涯学習を目標にしているわたしも見習うべき姿だと強く思った。

会場には、放大まつりに展示された作品も展示されていた。それらを含め、作品のひとつひとつについて石谷先生自ら逸話や裏話などを披露していただくことで、作品への理解が深まったような気がしたひとときだった。

また、同じ日の午後からは記念講演が開催された。講演会では、石谷先生のこれまでの作品の歴史を紹介していただき、作品の変遷をたどることはとても興味深く、人はどんどん変わりながらその道を追求していくのだと感じ入った。

いつも穏やかで笑顔がチャーミングな石谷先生からは、作品を生み出す際によく言われるいわゆる「生みの苦しみ」のようなものを感じない。作品を生み出すことをとても楽しんで、日常の些細なこともヒントにされるなどセレンディピティに恵まれておられると思った。これから、どんな作品を世に生み出しわたしたちに見せてくださるのか、石谷先生から目が離せません。

作品タイトル:光降る
平３０年放大まつり展示室にて

平成３０年度「鳥取学習センター忘年会」が開催されました！

と　き　平成３０年１２月１日（土）１８：３０～　　ところ　瀧の蔵　　参加者　１６名

小林所長をはじめ、田中事務長、客員教員、学生、同窓生が集い、温かい鍋を囲んで盛り上がり、話も弾みあっという間に時間が過ぎました。平成最後の忘年会は大盛況でした。

◇◆事務局便り◆◇

＊会員状況（平成３１年２月２８日現在）＊＊＊＊＊＊＊

一般会員４９名　特別会員１９名（計６８名）

＊学友会共催事業について＊＊＊＊＊＊＊

在学生・教職員の方々との交流・親睦を図ることを目的に、納涼会・忘年会などを企画しています。鳥取学習センターのホームページ、機関誌「ぷりずむ」をご覧の上、事務室にお申込みください。ご参加、お待ちしています！

＊鳥取同窓会会報誌「麒麟」原稿募集＊＊＊＊＊＊＊

鳥取同窓会事務局では会報誌「麒麟」の原稿を随時募集しています。会員の皆様の学びの現在・過去・未来、日頃感じていること、エッセイ、詩、自慢話、ちょっといい話など、形式は問いません。

また、当会に対するご意見、「麒麟」に関するご感想などもお寄せください。

「麒麟」原稿送付先

放送大学鳥取学習センター気付　鳥取同窓会宛（担当：清水道代）

〒680-0845　鳥取市富安２-１３８-４　鳥取市役所駅南庁舎５階

℡（０８５７）３７-２３５１　　fax（０８５７）３７-２３５２

＊編集後記＊＊＊＊＊＊＊

このところ「平成最後の…」ということをよく聴き、よく使います。平成最後の麒麟発行に漕ぎつけ、ほっとしているところです。そして、会員の皆様のお手元で、どのように読まれ、どのような感想をお持ちなのか気になるところです。鳥取同窓会の在り方、放送大学への思いを、いかなる形でもお寄せいただけると幸いです。

この春、新しい時代へ。皆さま、いいスタートを切れますように！　（Ｍ．Ｓ記）